

人を大切に「ビジネスと人権」ガイドブック

「人を大切に」は、ビジネスと人権のもっとも基本的な考え方です。ヒューライツ大阪では、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」が承認された翌年の2012年1月に『人を大切に一人権から考えるCSRガイドブック』初版を発刊し、企業で働く従業員一人ひとりが人権をどう受け止め、どう働くのか、基本的な視点を提供してきました。第4版となるこの『人を大切にー「ビジネスと人権」ガイドブック』は、大きく変化した世界と日本の状況を踏まえて、2016年の第3版から全面的に改訂したものです。

内容のポイント

- 『人を大切に一人権から考えるCSRガイドブック』を「ビジネスと人権」の視点から全面的に刷新
- 全30項目の用語解説「ことば」により、初学者の理解をアシスト
- 日々の仕事や生活に関連付けて問いかける各章末尾の「考えてみましょう」

各章のポイント

- 第1章：ILO中核的労働基準をベースにした労働に関わる人権の考え方
- 第2章：気候変動や格差の拡大など時代の変化の中での企業と消費者の課題
- 第3章：企業が事業展開する国内外の地域社会での人権課題と企業の課題
- 第4章：バリューチェーンの中で企業が果たすべき人権尊重責任



(A4判 32ページ)



CONTENTS

第1章 働く人の人権

- 働くことと人の尊厳
- 働く人の人権をめぐるさまざまな課題
 - (1) 強制労働
 - (2) 児童労働
 - (3) 雇用と職業における差別
 - (4) 結社の自由と団体交渉権
 - (5) ハラスメント
- 社会対話による人権尊重と救済

第2章 消費者の人権

- 企業と消費者の人権
- まず重視すべきは「安全・安心」
- 時代が大きく変化するなかで
 - (1) 脆弱な消費者の顕在化
 - (2) 脱炭素化と循環経済への流れ
 - (3) デジタル化の流れ
- 消費者の権利と責任

第3章 グローバル経済のなかで暮らす地域住民と人権

- 地域社会との関わりがグローバルに
- 自社がビジネスを展開する地域社会では
- 資源や原材料を調達する地域社会では
- 投融資先の地域社会では
- グローバルな課題との関わりをなかで
：気候変動や腐敗防止、新型コロナ

第4章 人が大切にされる社会のために

- 企業の人権尊重責任
- 「ビジネスと人権」の視点
- 指導原則が求める企業の対応
- 人権尊重の実践～バリューチェーンの中で
○ SDGsと企業の人権尊重責任

PDF版の購入

- ウェブサイトの購入フォームからお申込みください
- 価格：500円（税別・送料別）／1名使用
- 11名以上の購入は割引制度があります
- 詳しくはヒューライツ大阪ウェブサイト（下記QRコード）をご覧ください

冊子版の購入

- ウェブサイトの購入フォームからお申込みください
- 価格：700円（税別・送料別）／1部
- 11部以上の購入は割引制度があります
- 詳しくはヒューライツ大阪ウェブサイト（下記QRコード）をご覧ください



eラーニング版もあります → 特設サイト <http://bhr-elearning.net> をご覧ください

(eラーニング
サイトへ)

■ お問い合わせ先

一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）
〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目7-7 CE西本町ビル8階
電話：06-6543-7003 FAX：06-6543-7004
Email：webmail@hurights.or.jp Website：http://www.hurights.or.jp/japan/



